

今回のテーマ「外国人雇用状況 2025年10月末時点」について

2025年10月末時点の「外国人雇用状況」の届出状況が発表になりました。
 詳しくは厚労省 HP をご覧下さい。 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_68794.html

【別添1】

「外国人雇用状況」の届出状況【概要版】（令和7年10月末時点）

1 外国人労働者の状況

外国人労働者の状況について

外国人労働者数は2,571,037人（前年2,302,587人）。

前年比で268,450人増加し、届出が義務化された平成19年以降、過去最多であり、対前年増加率は11.7%と前年の12.4%から0.7ポイント減少。

国籍別では、ベトナムが最も多く605,906人（外国人労働者全体の23.6%）、次いで中国431,949人（同16.8%）、フィリピン260,869人（同10.1%）の順。

在留資格別では、「専門的・技術的分野の在留資格」が最も多く865,588人（外国人労働者全体の33.7%）、次いで「身分に基づく在留資格」が645,590人（同25.1%）、「技能実習」が499,394人（同19.4%）の順。

○ 国籍別の状況（P6）

労働者数が多い上位3か国

・ベトナム	605,906人	（全体の23.6%）	〔前年570,708人〕
・中国	431,949人	（同16.8%）	〔同408,805人〕
・フィリピン	260,869人	（同10.1%）	〔同245,565人〕

対前年増加率が大きい主な3か国

・ミャンマー	163,311人	（前年比42.5%増）	〔前年114,618人〕
・インドネシア	228,118人	（同34.6%増）	〔同169,539人〕
・スリランカ	50,427人	（同28.9%増）	〔同39,136人〕

○ 在留資格別の状況（P7）

労働者数が多い上位3資格

・専門的・技術的分野の在留資格	865,588人	（全体の33.7%）	〔前年718,812人〕
・身分に基づく在留資格	645,590人	（同25.1%）	〔同629,117人〕
・技能実習	499,394人	（同19.4%）	〔同470,725人〕

対前年増加率が大きい上位3資格

・特定活動	111,074人	（前年比29.6%増）	〔前年85,686人〕
・専門的・技術的分野の在留資格	865,588人	（同20.4%増）	〔同718,812人〕
・資格外活動	449,324人	（同12.8%増）	〔同398,167人〕

○ 都道府県別の状況（P8）

労働者数が多い上位3都府県

・東京	652,251人	（全体の25.4%）	〔前年585,791人〕
・愛知	249,076人	（同9.7%）	〔同229,627人〕
・大阪	208,051人	（同8.1%）	〔同174,699人〕